



松伏町長 鈴木 勝氏

町長のメッセージ

松伏町は、水と緑に恵まれた田園風景と住宅地や都市公園などの都市的景観が美しく調和している自然豊かな町です。

面積は埼玉県内で8番目に小さい町ですが、小さな町であるからこそ、できることを探し、小さくとも輝ける町を目指します。

特色ある地域資源を最大限に活かした施策を展開するとともに、町民の皆様との協働によるまちづくりを進め、「笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち!」の実現に向けて取り組んでまいります。

はじめに

松伏町は、埼玉県 of 東南部、都心から30 km圏に位置し、東は江戸川を隔てて千葉県野田市、南は吉川市、西は大落古利根川を境に越谷市、北は春日部に接している。

交通面では、南北方向に県道春日部松伏線と県道葛飾吉川松伏線が、東西方向に県道越谷野田線が通っている。町内に鉄道は通っていないが、東武スカイツリーライン北越谷駅、新越谷駅、せんげん台駅、JR武蔵野線南越谷駅、越谷レイクタウン駅、吉川駅、東武アーバンパークライン愛宕駅、野田市駅からバス便が利用できる。

田園風景が広がる自然豊かな町であるとともに、町内の寺社・仏閣には地域の歴史を伝える文化財も多く、伝統行事も大切に受け継がれている。

多彩な公園

松伏町は江戸川、中川、大落古利根川の3本の河川が流れる水と緑豊かな町である。町内には自然を生かして多くの公園が整備され、人口一人当たりの公園面積は約15㎡で、県東南部で最大である。

町の北西部にある「県営まつぶし緑の丘公園」(表紙写真)は、広さ26.5ha、東京ドーム5個分以上の面積を持つ。広場、水辺、里山からなる原風景を創出し、人と樹木や野鳥、草花、昆虫などのふれあいを通じ、自然との共生、憩いややすらぎを感じることにより、心も体も元気になる公園として親しまれて

いる。平成19年の広場ゾーンの一部開園から、順次、水辺ゾーン、里山ゾーンが開園し、平成28年に全面開園となった。令和2年には2歳児までの子供が利用できる「すくすく広場」が開設された。はだしやハイハイで遊べるよう、芝生の専用スペースとなっており安心して遊ぶことができる。令和3年にはバーベキュースペースがオープンし、様々な年代の人が楽しめる公園となっている。

大落古利根川近くの「田中第二公園」には令和元年に、スリー・バイ・スリー用バスケットボールコートが設置され、若者を中心に賑わっている。平成28年に開園した同川沿いの「かがり火公園」は、川辺の憩いの場、散策の休憩場所として人気である。

町の南部には、野球やテニスなどが楽しめる「松伏記念公園」、大きな調整池の周りで散歩やウォーキングが楽しめ、スペイン風の風車がシンボルとなっている「松伏総合公園」がある。



まつぶし緑の丘公園での「松伏ふるさとカレー」販売会

松伏町概要

人口(2022年3月1日現在)	28,464人
世帯数(同上)	12,154世帯
平均年齢(2021年1月1日現在)	48.3歳
面積	16.2km ²
製造業事業所数(工業統計)	76所
製造品出荷額等(同上)	279.6億円
卸・小売業事業所数(経済センサス)	139店
商品販売額(同上)	241.6億円
公共下水道普及率	69.1%
舗装率	66.4%

資料:「令和3年埼玉県統計年鑑」ほか



主な交通機関

- 東北自動車道 浦和ICから町役場まで約12km
- 東京外環自動車道 三郷西ICから町役場まで約12km

それぞれの公園は、様々な年代の人がライフスタイルなどに合わせ親しみを持って利用できるよう町全体で整備が進められている。

☀ 松伏ふるさとカレー

松伏町は、国内初の純国産カレー粉の製造に成功し、スパイスとハーブのパイオニアとして、日本の食卓に欠かせない製品の開発とその普及に努めてきたエスビー食品株式会社の創業者、山崎峯次郎氏の出身地である。このことから、「カレーのまち」として町内外へPR、魅力の発信を行い、町の認知度向上に努めている。令和元年から「松伏ふるさとカレースタンプラリー」を実施し、令和3年は16店が参加した。カツカレーやカレー南ばん、カレーパンの他、カレーラーメンやカレーマフィン、カレーチーズタルトなどカレーを使った様々な商品が提供された。提供する店舗も洋食、中華、そば店に加え、うなぎ料理専門店、洋菓子店、居酒屋など様々。各店舗でカレーを使った商品を食べるかテイクアウトするとスタンプが獲得でき、獲得数に応じて賞品がもらえる。スタンプラリー開始翌日には、まつぶし緑の丘公園で「松伏ふるさとカレー」販売会が開催された。

期間中の土日祝日には町内外から来る人のため、町役場の駐車場を開放したほか、無料レンタサイクルが用意された。

☀ 進む道路整備と企業立地

現在、八潮市から春日部市に至る東埼玉道路の

整備が進んでいる。八潮市から吉川市までの区間は開通しており、吉川市から、松伏町、春日部市の区間は整備中である。松伏町では交通の便を活かし、埼玉県と共同で東埼玉道路沿いに松伏田島産業団地を整備している。面積は約18.3ha、事業用地3区画のほか、調整池、公園、道路等が整備される。造成工事はほぼ終えており、すでに大型食品流通センターなど物流施設の立地が決まり、本年から建物等の工事が始まる予定である。

町では、町内の雇用を促進するため、「企業立地に係る雇用促進奨励金」交付制度を設け、町内に住む人を雇用する場合、奨励金を交付することとしている。

松伏町は、自然や歴史豊かな田園都市としてのイメージが強いが、道路や産業基盤の整備が進むことにより、産業面での更なる発展が期待される。

(吉嶺暢嗣)



整備が進む松伏田島産業団地